

報 告

1. 第12回円山川流域委員会

(1) 開催日時、場所

日 時：平成17年3月14日(月)13:00~16:00

会議場所：豊岡市民プラザ 多目的ホール(アイティ7F)

(2) 議事

円山川緊急治水対策について

今後の委員会の進め方

その他

(3) 審議内容および決定事項

1) 円山川緊急治水対策の内容に関して

河川管理者から円山川緊急治水対策の説明が行われ、その後、河川管理者と質疑が行われました。委員からは主に以下のような意見や質問がありました。

- ・円山川緊急治水対策を行っても今回規模の洪水が発生した場合に床下浸水はやむを得ないという考え方なのか。
- ・遊水地は概略の構想でも良いので早く決めて本委員会に提示して欲しい。
- ・円山川流域全体に出石川や稲葉川上流のような大きな雨が降った場合にはどのようなようになるのか。
- ・円山川下流部は下流部治水対策協議会で内容を検討するとのことだが、検討だけに終わらないか危惧している。
- ・蓼川井堰は改築しないのか。旧赤崎橋の右岸まで掘削する計画はないのか。
- ・時間雨量50mm以上の降雨の回数は移動平均で示した方がよい。降雨量のデータは観測所を統一した方がよいのではないか。
- ・今回の計画に潮位は考慮されているのか。
- ・台風23号時の住民の意識や行動を評価したうえで具体的な対策を立てたのか。
- ・堤防の決壊と床上浸水を防ぐというのにはわかりやすいが、表現の仕方に工夫があったほうがよいのではないか。掘削は自然関係の専門家の意見を取り入れて工夫ができるのではないか。今後はその対策を取られる可能性はあるのか。
- ・提示された案が900億円のできるのか。山の保水力も確保されるのか。
- ・基準地点での議論が中心となっているが、立野以外の箇所でも流下能力が確保されるのか
- ・情報を発信するだけでなく住民からの情報を受けながら対策をとる体制作りも重要である
- ・ハード整備だけでなく、例えば宅地の嵩上げや保険など他の対策も考慮してはどうか

2) 今後の委員会の進め方

今後、委員会で検討していく内容と具体的な委員会の進め方について議論され以下の通り決定されました。

- ・台風23号で被災された地域住民の意見も踏まえて、委員が整備計画原案に対し意見を述べるために、住民意見の聴取のためのオープンフォーラムを開催する。
- ・オープンフォーラムの前に課題検討会を開催して、自然再生委員会の内容を確認する。
- ・課題検討会及びオープンフォーラムの開催時期については今後、日程調整を行い決定する。

3) その他

宇戸委員が退任を希望されており、委員の追加について意見のとりまとめを行うこととなりました。

2. 第5回課題検討会の開催と概要

(1) 開催日時、場所

日 時：平成17年7月27日(水) 13:00～16:00

場 所：豊岡市民プラザ リハーサル室(アイティ7F)

(2) 議事

円山川水系自然再生計画検討委員会の内容確認

今後の委員会の進め方

オープンフォーラムの開催について

円山川下流部治水対策協議会

その他

(3) 会議の内容

1) 円山川水系自然再生計画検討委員会の内容確認

河川管理者から円山川水系自然再生計画検討委員会の内容説明が行われ、その後、河川管理者と質疑が行われました。委員からは主に以下のような意見や質問がありました。

(a) 緊急治水対策における河道掘削の方針について

- ・下流域の河道掘削は海水が入ってくるので効果があるのか。
- ・掘削後の堆積はどのくらいの年月がかかるのか。
- ・一日にダンプ600台が動くと、累計でどのくらいの土量になるのか。
- ・掘削による水位低減効果を1kmごとに知りたい。
- ・城崎大橋の付け替えを考慮した計画にならないのか。
- ・導流堤は洪水流を阻害していないのか。
- ・津居山港は0.6k地点だったと思うが、出発水位1.56mとはどこのことか。
- ・1km地点より下流では今回の事業で水位が下がらないということか。
- ・立野地点での掘削は下流に比べると小さいが効果はあるのか。
- ・中ノ郷地区は景観が大きく変化し、また、地域に親しまれている河原がなくなるが、その配慮や説明が必要である。

(b) 円山川水系自然再生計画検討委員会について

- ・治水上問題のある人工林の河畔林を自然再生計画の中に取り込むのはどういふことか。
- ・中ノ郷遊水池を実施することにより、河道幅が小さくなるのはではないのか。
- ・河道を左岸側に寄せるのは左岸側に暮らす住民の感情に悪影響がある。
- ・治水と環境と両面がうまくいくような案であると理解したが、そのような理解でよいのか。
- ・河道掘削により採草場がどのくらい減少するのか。
- ・いまだにゴミが引っかかり見苦しい。対策はないのか。

2) 今後の委員会の進め方

- ・今後、委員会で検討していく内容と具体的な委員会の進め方について議論されました。主な意見は以下のとおりです。
 - ・住民意見の反映のあり方について、これは意見を出してもらってそれを反映するのではなく、あるべき姿を検討した時に住民がいかに自発的に参加できるかというところをシステムとしてどう作りあげるかを考えないといけないのではないか。

3) オープンフォーラムの開催について

- ・オープンフォーラムでの、進行方法、参加者との意見交換方法について議論がされ、委員長と委員長代理が進行役を務めることとなりました。

4) 円山川下流部治水対策協議会

河川管理者から円山川下流部治水対策協議会の説明が行われ、その後、河川管理者と質疑が行われました。委員からは主に以下のような意見や質問がありました。

- ・アンケートに回答されているのは60歳以上の方が半数以上である。若い方の意見が入ってきた方がよいと思う。
- ・下流部の要望や対策が固まってくれば、それを流域委員会に上げて、流域委員会で整備計画の中に織り込んで実施していくのが妥当かと思う。

3. オープンフォーラムの開催と概要

(1) 開催日時、場所

日 時：平成17年8月2日(火) 13:00～16:00

場 所：豊岡市立日高文化体育館 大ホール

(2) プログラム

話題提供

参加者による意見交換

(3) 会議の概要

1) 話題提供

- ・意見交換に先立ち、4名の方から話題提供が行われました。

「円山川緊急治水対策を聞いて」

沖村 孝(円山川流域委員会委員/神戸大学教授)

「緊急治水対策と自然再生」

上田尚志(円山川流域委員会委員/自然再生計画検討委員会委員/兵庫県立豊岡総合高等学校教諭)

「台風23号の教訓」 森 信弘(神戸新聞記者)

「台風23号の災害について」菅村 和弘(豊岡市防災監)

2) 参加者による意見交換

- ・委員及び参加者全員による意見交換が行われました。



4. 第6回課題検討会の開催と概要

(1) 開催日時、場所

日 時：平成17年9月20日(火) 13:00～16:00

場 所：ワークピア日高(日高共同福祉施設)2F 会議室

(2) 議事

第5回課題検討会の報告

オープンフォーラムの集計結果報告

住民意見の反映方法について

円山川緊急治水対策について

その他

(3) 会議の内容

1) 第5回課題検討会の報告

- ・庶務より第5回課題検討会についての報告が行われ内容が了承されました。

2) オープンフォーラムの集計結果報告

- ・庶務よりオープンフォーラムについて、参加者の状況、会場での意見、書面による意見などの集計結果の報告が行われました。参加者の構成は以下の通りです。

参加者

- 円山川流域委員会委員：18名(4名欠席)

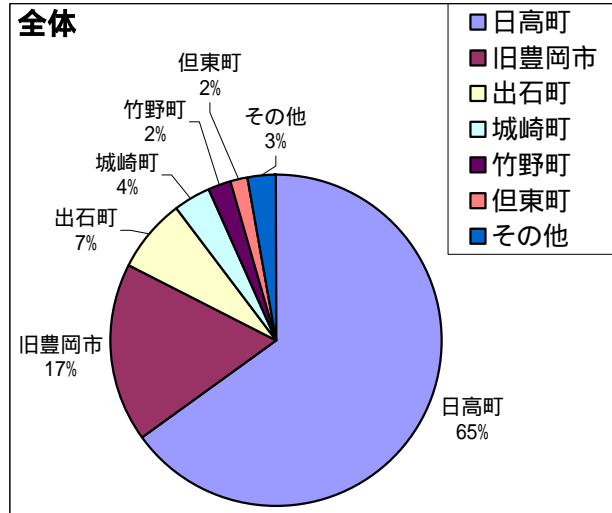
出席者：藤田委員長、川合委員長代理、有本委員、池田委員、上田委員、江尻委員、岡本委員、沖村委員、垣田委員、加藤委員、菊地委員、木之瀬委員、菅村委員、畑委員、平井委員、前田委員、松田委員、山口委員

- 一般参加者：223名(アンケート回収数)

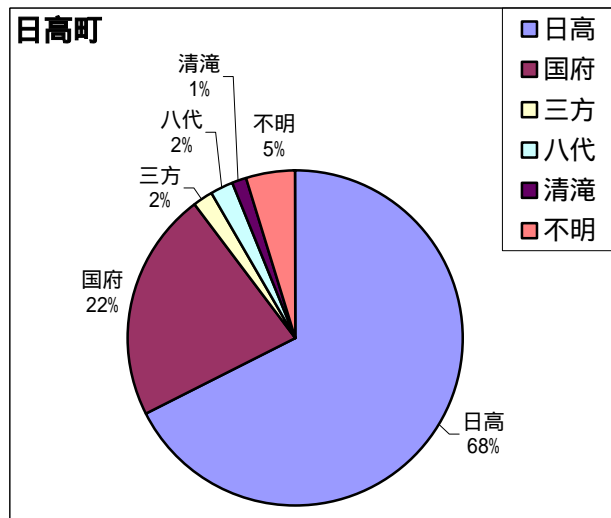
一般参加者の構成

地区

居住区域	人数	構成比
日高町	145	65.0%
旧豊岡市	39	17.5%
出石町	16	7.2%
城崎町	8	3.6%
竹野町	5	2.2%
但東町	4	1.8%
その他	6	2.7%
合計	223	100.0%

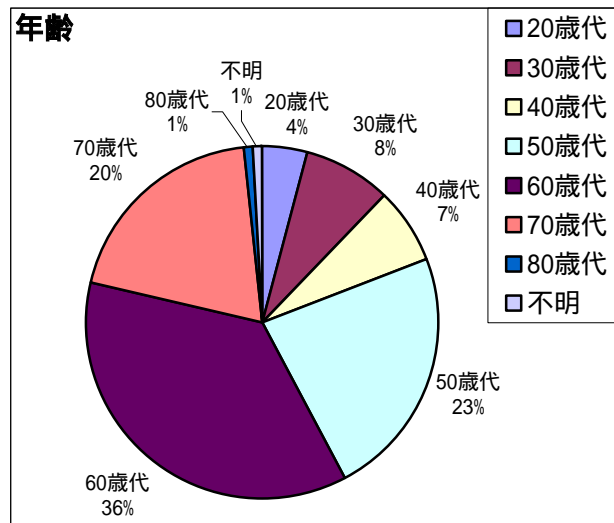


地区名	人数	構成比
日高	98	67.6%
国府	32	22.1%
三方	3	2.1%
八代	3	2.1%
清滝	2	1.4%
不明	7	4.8%
合計	145	100.0%



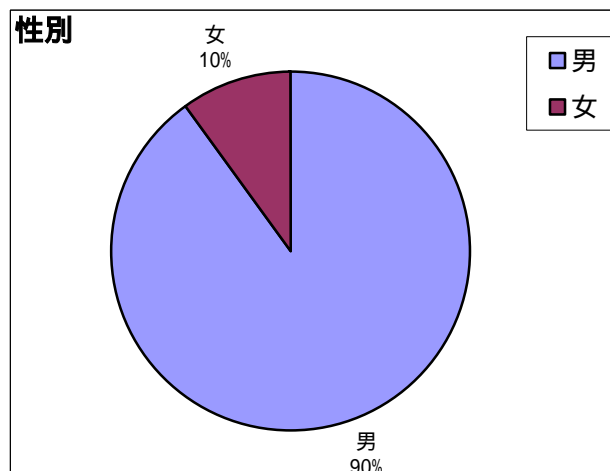
年齢

年齢	人数	構成比
20歳代	9	4.0%
30歳代	18	8.1%
40歳代	16	7.2%
50歳代	51	22.9%
60歳代	81	36.3%
70歳代	44	19.7%
80歳代	2	0.9%
不明	2	0.9%
合計	223	100.0%



性別

性別	人数	構成比
男	201	90.1%
女	22	9.9%
全体	223	100.0%



3) 住民意見の反映方法について

- ・ 住民意見の反映方法について議論が行われました。主な意見は以下のとおりです。
 - ・ 河川管理者に対して出された質問は委員会としては基本的に答えることができない。国交省に代わってどう答えればよいか。
 - ・ 既存のアンケート結果を活用する場合、水害の前後では意識の違いがかなり生じていると想像されるため、使い方が難しいと思う。調査結果を客観的に評価して用いる必要がある。
 - ・ 住民意見は基本的には委員会と特に異なった意見は出ていないと思う。整備計画への反映は既往の意見を補足しながら検討していくべきである。ただ、地域で作った計画であるという意識を持ってもらうことが重要である。
 - ・ オープンフォーラムについては平日ではなく、休日に開催して30～40歳の住民参加をねらい、これら若い人の意見を聞くべきだ。

4) 円山川緊急治水対策について

- ・ 円山川緊急治水対策をより深く理解するため、課題検討会での作業の一部として検討ワーキンググループの設置が委員長より提案され、その後意見交換が行われました。設置を委員会に諮ることとなりましたが、欠席の委員にも事前にアンケートで設置の可否や、集中的、機動的に活動するため、メンバーは9名以内で自薦あるいは他薦で人選することとし、そのメンバーについて意見を聞くこととなりました。

5. 第12回委員会以降の広報資料

表 1.1 公表資料一覧

資料名	公表の状況	資料 No.
円山川流域委員会ニュース No.12	11月11日より、各機関にて配布予定 (近畿地方整備局、豊岡河川国道事務所、兵庫県但馬県民局、豊岡市、豊岡市城崎総合支所、豊岡市出石総合支所、豊岡市日高総合支所)	-
第12回円山川流域委員会資料	豊岡河川国道事務所にて閲覧 ホームページに内容掲載	-
第12回円山川流域委員会議事詳録版	豊岡河川国道事務所にて閲覧	-
第12回円山川流域委員会議事概要版	ホームページに内容掲載	-
オープンフォーラム資料	豊岡河川国道事務所にて閲覧 ホームページに内容掲載	-
第13回円山川流域委員会のお知らせ	10月30日朝刊に折込広告 (流域内の市町の朝日・毎日・読売・産経・神戸に5万6千部配布)	別添
円山川流域委員会ホームページ http://www.maruyama-river.org/	アクセス数：10,289件 第12回流域委員会(H17.3.14)からのアクセス数：3394件 (11月4日時点)	-

会議	カウント年月日	前回からのアクセス数	総アクセス数
準備会議	-	-	894
第1回	2003/3/6	84	978
第2回	2003/6/16	87	1065
第3回	2003/7/2	157	1222
第4回	2003/7/13	281	1503
第5回	2003/9/16	132	1635
第6回	2003/11/16	377	2012
第7回	2003/12/17	82	2094
第8回	2004/2/1	455	2549
第9回	2004/4/24	568	3117
第10回	2004/6/28	489	3606
第11回	2004/9/12	521	4127
第12回	2005/3/12	2768	6895
第13回	2005/11/4	3394	10289

